

川崎・箱根観光MaaS実証実験推進協議会

道路混雑や駐車場入庫待ち渋滞の緩和・解消、カーボンニュートラル実現にむけたCO2排出量削減を図るための、近場のお出かけスポット・観光地への来訪促進及び来訪時の公共交通利用促進を目的とし、公共交通の乗車券購入・改札通過用コード表示、特急列車・バス予約、及び観光施設等の利用券の購入等の機能を、MaaSシステム「EMot」でワンストップで提供した。

協議会の 構成員	川崎市、箱根町、 小田急電鉄株式会社（事務局）、小田急箱根ホールディングス株式会社		取組イメージ	
地域課題	お出かけスポット・観光地等における道路混雑、駐車場入庫待ち渋滞が発生している点が課題である。 新型コロナウイルス感染症が収束し、観光客が戻った場合も、自家用車による来訪が多い傾向が続けば 新型コロナウイルス感染症拡大前よりも、さらに深刻な道路混雑・駐車場入庫待ち渋滞が生じることが懸念される。		MaaSを通じて提供するサービスのイメージ	
事業概要	期間	2021年10月～2022年3月		
	エリア	神奈川県川崎市、神奈川県箱根町		
	MaaSシステム	スマートフォン向けアプリ EMot ウェブブラウザ向けサービス EMotオンラインチケット		
	交通サービス	・鉄道（携帯端末上の2次元コードで改札通過可能、特急列車の座席予約・特急券購入が可能） ・定員制特急バス（予約・購入可能） ・ケーブルカー（電子チケットで乗車可） ・路線バス（電子チケットで乗車可） ・ロープウェイ（電子チケットで乗車可） ・観光船（電子チケットで乗車可） ・シェアサイクル（検索で表示、アプリ間遷移で手配） ・タクシー（検索で表示、アプリ間遷移で手配）		
	交通以外のサービス	MaaSシステム（アプリ・ウェブサービス上）において、交通サービスと一体的に以下の電子チケットを提供 ・観光施設等の入場券 ・温浴施設の利用券 ・飲食店における割引優待券、引換券等		
検証内容	・近場のお出かけスポット・観光地への来訪時の公共交通利用促進 ・公共交通利用時の予約・決済・改札通過のシームレス化や座席指定制サービスの拡充を通じた、近場のお出かけスポット・観光地への来訪促進		●評価指標 1：デジタルフリーパス等の電子チケット販売枚数：22,472枚（3月11日時点） * EMotの管理システムでリアルタイムで計測 ●評価指標 2：自家用車利用と比較検討の上で利用した方の継続利用意向:85.9% * 3月上旬のアンケート結果にて計測	
			今後の方向性	
			座席定員制バスの予約や観光施設の利用状況に関してはまだ伸びしろがあるため、積極的な販促等を通じて売り上げ向上を目指す。 また、自家用車利用者のパークアンドライド利用についても、引き続き関係者と連携して利用促進を図り、MaaSサービス利用を通じた公共交通利用促進と渋滞緩和に向けた取り組みを進める。	